

第4回

水木十五堂賞 授賞式 開催

参加者
募集中!

1月31日(日) 13時30分開演(13時開場) / やまと郡山城ホール

「水木十五堂賞」は、明治～昭和にかけて市内豆腐町に居住した、大和を代表する研究者・文人の水木要太郎(十五堂は雅号)の功績にちなみ、歴史、伝統文化、自然などの分野で、蒐集を行うとともに博識をもって社会に貢献した人を表彰します。

第4回の授賞者は、徳島県の伝統芸能「阿波木偶箱まわし」で用いる木偶や周辺用具などの資料の蒐集を行い、失われかけた伝統芸能の復興・継承に大きく貢献されている、辻本 一英さん(右写真)に決まりました。



参加無料・要申込・先着 900人

阿波木偶箱まわしとは

三番叟とえびすの人形4体を用いる門付け(正月の祝福芸)「三番叟まわし」と、路傍で人形浄瑠璃芝居のさわりを演じる大道芸「箱廻し」からなる徳島の伝統的な人形文化。2・3人1組で、数体の木偶を入れた木箱等を担いで各家・各地を回り、行われていました。



三番叟まわしは四国各地で、箱廻しは日本各地へ巡業されていたものの、昭和初期を境に、現在その姿はほとんど見るができなくなると言われています。

当日会場で実演も

今回の授賞式では、記念講演・座談会に加えて、実際に、阿波木偶箱まわし保存会による「木偶箱まわし」の実演も予定しています。ぜひ貴重な伝統芸能を直接会場でご覧ください。

参加者を募集中

参加申込は、住所・名前・電話番号・参加人数(3人まで)を、電話・FAX・メールで下記へ。市ホームページからも申し込み可。(申込先着順・定員900人) ※申込者には、後日参加券を郵送します。

◆申込先・問合せ 水木十五堂賞運営協議会事務局(企画政策課内)
(内線 241・FAX 53-1049) (✉ mizuki@city.yamatokoriyama.lg.jp)

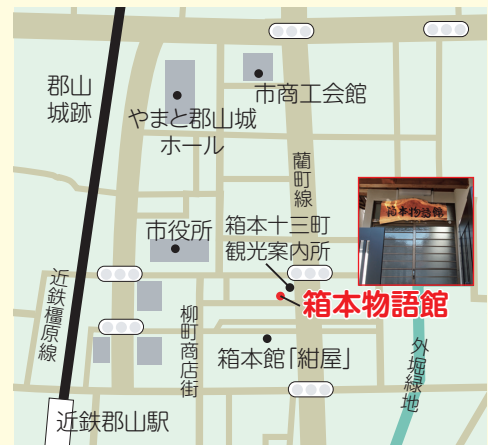
ずっと城下町



1月15日(金)
10時に開館!

江戸時代の郡山城下の自治制度として設けられた箱本十三町のひとつ、豆腐町の一角に資料館が開館します。

箱本十三町観光案内所の西側に建つ空き家を改装したこの施設。明治～昭和に豆腐町に居住していた水木要太郎(十五堂)にまつわるパネル展示や、城下町ゆかりの史料などを展示しています。ぜひ、みなさん一度足をお運びください。



利用
案内

開館日時 = 火・木・土・日曜と祝日 9時～17時(ただし12月29日～1月3日は休館)

場所 = 豆腐町11-9(右図参照・駐車場はありません)

入館料 = 無料

問合せ = 企画政策課(内線241)